

令和8年1月現地情報

糸魚川駐在

～海洋高校で就職ガイダンスが行われました～

糸魚川市能生の新潟県立海洋高等学校で1月30日に2年生を対象とした就職ガイダンスが開催されました。水産業における担い手不足を解消するために新潟県漁業士会からも講師が派遣され、講師からは水産業の魅力や実体験について説明がありました。講師はカニ籠漁を営んでいる漁業者であったことからカニが話題の中心でしたが、生徒たちも興味深そうに聞き入っていました。また、水産課が用意したカニ籠漁と底曳き網漁のVR動画も見てもらい、漁を疑似体験してもらいました。これを機に水産業への興味を持ってもらい、今後の就職先候補の一つとして検討してもらえれば幸いです。



図1 新潟県漁業士会の講師によるガイダンスの様子。

令和8年1月現地情報

新潟駐在

～市場見学および HACCP 講習会～

○新潟市場見学（3:30～4:00）

1月20日、同日昼に開催されるHACCP講習会に先立ち、現状把握および水産業普及指導員の研修を目的として、新潟市場の視察を実施しました。

1月は荒天が続き、漁業者の出漁機会が限られていましたが、見学前日は天候に恵まれ、新潟および佐渡産の水産物が多数並び、活気ある競りの様子を見ることができました。また、衛生面においては、魚箱がパレット上に整然と配置されており、現場における高い衛生意識のもとで業務が行われていることが確認できました。

○HACCP講習会（9:00～10:00）

新潟漁業協同組合の主催により、HACCP講習会が開催されました。海洋水産システム協会より講師をお招きし、県の水産職員、漁協関係者、市場関係者、漁業者など計41名（対面24名、オンライン17名）が参加しました。

HACCP（ハサップ）とは、食品の製造・流通過程において発生しうる危害要因（ハザード）を事前に分析し、工程ごとに継続的な監視・管理を行うことで、食品の安全性を確保する衛生管理手法です。最終製品の検査だけでなく、工程ごとにリスクを管理する点に特徴があります。

講習会前半では、食中毒防止に向けた衛生管理の重要性や、危害要因（ハザード）の種類、一般衛生管理とHACCPの基本的な考え方について解説が行われました。後半では、当日の市場見学の内容を踏まえ、産地市場や漁港における品質・衛生管理のポイントについて具体的な説明がありました。あわせて、見学時に確認された改善点についても共有され、参加者の衛生意識の向上につながる内容となりました。

本講習会を通じて、漁業関係者の衛生管理に対する理解が一層深まり、安全で安心な水産物の供給につながることを期待されます。



新潟市場の様子



HACCP 講習会の様子

令和8年1月現地情報

村上駐在

～さんぼく小学校で食育授業と給食を見学～

1月15日、さんぼく小学校の栄養教諭の先生からお誘いを受け、食育授業と給食の様子を見学してきました。山北地区では、生産者と加工業者が一緒に取り組んでいる鮭いプロジェクトで未利用魚の活用に取り組んでいますが、この日の給食ではプロジェクトで製造した「エソのつみれ」を原料に用いたエソのちゃんこ鍋がメニューに登場しました。エソちゃんこ鍋は、村上市出身の元力士臥牛山さんが考案したレシピです。さんぼく小学校（中学校も）でのエソの給食メニューは今回で2回目。馴染みのなかったエソの名前は、子ども達におなじみになりつつあります。給食の時、栄養教諭の先生から山北地区で獲れる魚の種類の変化や未利用魚のお話、エソを給食で取り入れる理由などについて食育授業が行われました。見学の最後に、プロジェクトメンバーと一緒に給食を試食し、エソの出汁がしっかり出たちゃんこ鍋を美味しくいただきました。他の村上市内の学校でも給食メニューに美味しい未利用魚が出るように、活動を進めていきたいと思えます。



食育授業の様子



給食メニュー（エソちゃんこ鍋）

令和8年1月現地情報

佐渡駐在

～新潟県版地域おこし協力隊員をご紹介します！～

令和8年1月1日付けで、新潟県版地域おこし協力隊の隊員として船橋祐司（ふなばしゆうじ）さんが着任しました。船橋隊員には、佐渡地域振興局農林水産振興部（水産庁舎）に常駐し、漁港を中心とした漁業地域について、観光との連携によって活性化を目指す「海業（うみぎょう）」の推進に取り組んでいただきます。

船橋隊員は、これまでも個人的にSNSで離島の魅力を発信するインフルエンサーとして活躍してこられました。協力隊着任を契機として、東京都から佐渡へ移住して来られました。

着任早々、1月中旬には、いくつかの地区において、海業の推進に向けた聞き取り調査が始められました。今後も漁業地域の活性化を図るため、水産業普及指導員とともに各漁港周辺を訪れることもあるかと思えます。皆様にお会いした際にはどうぞよろしくお願いいたします。



会議にてアンケートの調査結果を説明する船橋氏